



石川's IMPRESSION



まずはノーマルに試乗。色々と走り回ってからPBS.S搭載マフラーに交換し、パワーや音の違いをチェックする。純正もそんなに速いだけに不安がよぎる。本当に違いが分かるのか？しかしPBS.Sの効果は、走り出してからすぐに体感できた。明らかに出足がよくなっているではないか。さらにアクセルを踏み込んでみる。ノーマルはエンジン音がうるさく、加速していかないのに対し、PBS.S装着後は力強くクルマが前に進んでいく。格段にトルクが高まっており運転しやすい。モーターとエンジンの切り替わりもスムーズでシームレスな加速が続く印象だ。うるさすぎず、かといって静かすぎないほどよいサウンドも好印象。これはオススメです！

PASION EVO(左右4本出し)[PAS-099シリーズ]

60プリウスのリアビューを華麗に演出してくれるPASION EVO(左右4本出し)は、フロントからのフル交換タイプ。中低速トルクが大幅に向上し、街中で乗りやすさを実感できる。高回転域でもパワーが伸びるため高速道路での追い越し加速でも速さを実感できる。低音が効いたジェントルなサウンドを奏でるのも魅力だ。車検対応モデルとなる。



[純正比DATA]

パワー	+13.4ps
トルク	+1.2kgf・m (最大差+6.6kgf・m)
燃費改善率 (ガナドール計測結果)	+16.0%UP

価格:14万3000円~16万5000円
適合:Z/Gグレード(2WD/6AA-MXWH60)
アイドリング音量:62.0dB
近接排気音量:85.0dB
テール径:105×70φオーバー(左右4本出し)
パイプ径:50φ

PASION EVO(右ダブル出し)[PAS-100シリーズ]

PASION EVOでは右ダブル出しも用意。こちらもポリッシュとチタニウム製ブルーという2種類のテールを設定する。手頃感のある価格帯ながら、確かなパワーアップ&燃費向上を実感できるマフラーだ。全域でパワー&トルクの上乗せを実現し、燃費改善率は15.5%に到達。近接排気音量は88dbと左右4本出しの85db比べて若干大きめとなるが、当然ながら車検対応内に収められている。



[純正比DATA]

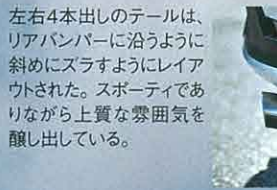
パワー	+9.3ps
トルク	+0.9kgf・m (最大差+4.9kgf・m)
燃費改善率 (ガナドール計測結果)	+15.5%UP

価格:8万8000円~9万9000円
適合:Z/Gグレード(2WD/6AA-MXWH60)
アイドリング音量:65.0dB
近接排気音量:88.0dB
テール径:105×70φオーバー(右ダブル出し)
パイプ径:50φ

を繰り返したとか。
ガナドールではシャーシダイ上での開発はもちろん実走テストにもこだわる。PBS.Sとして市販化に至るのは自ら課した厳しい基準(燃費15%以上向上)をクリアしたものだ。マフラー交換後はアクセルを踏み込む量を減らしても純正以上に加速するため燃費が抑えられるという。その効果を確認すべく、いざ試乗を開始！



ウルレスタイプのサイレンサー。車種ごとに仕様を吟味した専用設計だ。空気抵抗を低減するべく角の取れた丸型サイレンサーとしているのもミソ。



左右4本出しのテールは、リアバンパーに沿うように斜めにスラスするようにレイアウトされた。スポーティでありながら上質な雰囲気を出している。



105×70φオーバーテールを採用。その内部には独自のスパイラルフィンを組み込む。排気の流れをコントロールして驚きの性能を引き出している。

E-Fourも新発売
詳しくはコチラから！



ガナドール GANADOR

問:株式会社マツ・ショウ ☎048-935-1130
https://www.ganador.co.jp



ガナドールの知識を惜しまずに入社員から学ぼう

60 PRIUS SPORT MUFFLER

PBS.S

POWER BOOST SYSTEM. SUPER

馬力アップと燃費改善を両立するマフラーチューンの新境地

